

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 25

2010年7月発行

暑中お見舞い申し上げます！

「暑いですね～」が挨拶の毎日ですが、皆さん、お変わりございませんか？
十分に睡眠をとって、水分補給をして、くれぐれもお身体に気をつけてください。

今年度の事業について

‘ほうぶ’では、今年度、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉振興助成を受け、次のような活動を行っています。みなさまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<事業名> 障害児の自立に向けての社会生活体験事業

障害児の社会参加と自立の促進を目的として、上記の事業を行います。‘ほうぶ’では、2007年から障害児の自立に向けた支援として「子どもからはじめる『個人将来計画』」の作成・実施を通して、障害児の個別サポートを行ってきました。今年度は、グループに対しての支援を展開していきます。障害児が、地域活動に参加する機会や、親から離れて生活体験を行う機会をつくることによって、余暇・学習・就労などを含めた将来の暮らしを見すえながら体験の幅を広げられるように支援を行います。本事業を通して、「障害者自立生活プログラム・子ども版」のモデルを構築できればと思います。

<内 容>

1. 社会生活体験事業

[概要] 障害児が、グループ活動によりボランティアと一緒に体験の幅を広げる。同世代や先輩の障害当事者や地域住民と関わる機会をつくる。

また、語り合いや研修により、保護者が力を発揮する支援を行う。

[対象] 障害児6名程度（基本的に中・高生）、障害児の保護者6～8名

(1) 社会生活体験プログラムⅠ [仕事ってどんな？・仕事の体験をする]

仕事場の見学、パン作りや販売の体験、喫茶（接客）の体験、フリーマーケットの準備、フリーマーケット開催を行う。会場は、旭区民の交流の場「あさひあったかきち」（今市商店街）を中心に活動する。

(2) 社会生活体験プログラムⅡ [おしゃれをしよう！・自分で選ぶ表現する]

服について話そう、どんな服が好きかな？、ショッピング、ファッションショー（自己表現）を行う。

(3) 社会生活体験プログラムⅢ [クッキング！・調べる買う調理する]

メニューを考えよう、スーパー探検、買い物&クッキングを行う。

(4) 保護者向けプログラム

仕事場の見学、語り合おう(2回)、おしゃれしよう、計4回開催予定。

<経過報告>

7月5日に運営委員会を開催し、事業内容や進め方について話し合いました。

運営委員会参加者：障害児保護者4名、自立生活センターおおさかひがしスタッフ2名、自立生活センターあるるスタッフ1名、旭区保健福祉センター職員、旭区社会福祉協議会職員、ほうぷスタッフ1名

スケジュールは、6ページのボランティア募集をご覧ください。

ボランティア募集中です！ お申込お待ちしております!!

2. 社会参加の促進

[概要] 子どもがそれぞれのペースで、音楽を通してコミュニケーションをはかり自己表現をする「音楽広場」を月1回開催し、年1回交流会を行う。年1回、「体験広場」を開催する。

[対象] 音楽広場：障害児8名、体験広場：障害児とその兄弟姉妹10～15名

(1) 音楽広場の開催

4月に交流会。5月から月1回開催(7月除く)。音楽療法士2名が担当。

(2) 体験広場の開催

7月にグループによる音楽の活動を行う。音楽療法士と音楽療法専攻の学生ボランティアにより進行する。

<経過報告>

音楽広場は4月から活動中。7月4日に体験広場[音楽で遊ぼう]を開催しました。4、5ページに報告を掲載しています。

3. 個人将来計画検討会議の開催

[概要] 障害当事者、ヘルパーコーディネーター、医療者、社会福祉士等が集り、2007年度から昨年度まで行ってきた「子どもからはじめる個人将来計画」の課題検討会議と、計画作成ワークショップを開催し、個別支援を行う。

<経過報告>

6月19日(土)個人将来計画作成ワークショップを開催。Aさんを中心に話し合いを行い、「Aさんってどんな人?」「わたし(Aさん)のやりたいこと、Aさんとやりたいこと」などを出し合った。

参加者：友達3名、ピアカウンセラー1名、教師2名、医師1名、支援者(ヘルパーコーディネーター、作業所スタッフ、ソーシャルワーカーなど)8名 計15名

今後、ワークショップの話し合いをもとに、個人将来計画(将来map、ライフプラン表など)を作成し実践をしていく。

以上



第2回

子育て わいわい広場 in ASAHI

主催：旭区子育てサロン連絡会、旭区保健福祉センター、旭区社会福祉協議会

2010年7月2日(金)10:00~12:00

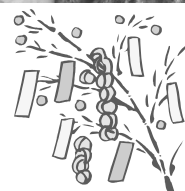
会場：大阪市立旭区民センター 大ホール

参加者：約200組

昨年度、旭区のさまざまな団体が集り、初めて取り組んだ子育てイベント「わいわい広場」が、今年も開かれました。昨年は、旭区民センターの小ホールで開催されましたが、小さな子ども達と保護者であふれましたので、今年は、大ホールで行われました。

朝から降っていた雨は10時前には上がり、たくさんの親子が楽しい時間を過ごされていました。七夕の短冊を書いて大きな笹にくくりつける七夕笹飾り、大型遊具、絵本のコーナー、手作りおもちゃのコーナー、輪投げなどのゲームコーナー、相談や赤ちゃんの休憩コーナーなど、さまざまな団体が担当されました。リトミックやバルーンアートのパフォーマンスも行われ、最後に、皆で体操をして終了しました。

協力団体も10団体と増えて、旭区全体での取り組みになってきました。地域住民の方々と公共機関とが協力し合い、地域に密着した子育て支援の輪が大きくなっています。



♪ 音楽で遊ぼう ♪

主催：NPO 法人地域生活サポートネットほうぶ
独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

2010年7月4日(日)10:30~12:00

会場：大阪市立市民交流センターあさひ東 講堂・202



参加者 34名

子ども：11名（うち障害児8名）、保護者：8名（交流会）

講師：3名（音楽療法士・音楽療法士（補））、

ボランティア：7名（大学生）

スタッフ：5名（ほうぶ3名、社会人ボランティア2名）

‘ほうぶ’では、設立時から「音楽広場」を開催してきました。現在、8人の子どもが毎月それぞれのペースで音楽を楽しんでいます。「音楽を楽しむ場がほしい」という障害児の保護者からのニーズは多いのですが、開催回数や参加人数を増やすことが難しく、なかなか応えられません。そこで、今年度は、グループで音楽を楽しむイベントを企画しました。障害をもつ小学生の子ども達と、その兄弟姉妹が集ってくれました。

年齢は4歳から12歳、障害は身体障害・知的障害・発達障害・視覚障害、そして、障害をもたない兄弟姉妹と、いろんな子ども達が集ってきて、さあどうなるかと心配したのですが、会場から出て行く子どもはおらず、優しい時間が流れ、みんな笑顔で帰って行きました。アンケートの保護者の感想に、「また開催して欲しい」と多く書かれていました。

また、同時に保護者の交流も行ないました。お父さん2名の参加もありました。自己紹介の後、フリートークを行ないました。旭区、都島区、生野区と地域はいろいろですが、近況を語り合い、中学に向けての情報収集や情報交換などが行われました。

ご参加いただいた皆様、そして、講師とボランティアの皆さん、楽しい時間をありがとうございました。

<活動スケジュール>

9:30 講師&ボランティア集合

会場準備 & リハーサル & 打ち合わせ

10:15 受付開始

10:30 「♪音楽で遊ぼう♪」スタート

1. 『崖の上のポニョ』 Saxとフルートの演奏（保護者も一緒に。）

2. こんにちはの歌 ~タンバリンでこんにちは~

3. 『まねきねこダック』の歌 ~人形をつかった名前の歌~

4. いろんな楽器で遊ぼう・・・太鼓、シンバル、ツリーチャイム、音積み木、マラカス、タンバリン、木魚など

5. 『ホール ニュー ワールド』 Saxとフルートの演奏

6. ゆらゆらムーブメント

~セタ~ ベルとすず、スパークハーフ（布）を使った活動



7. 『ビリーブ』 合唱

8. さよならの歌 ～さよなら皆さん、また会いましょう～

11:30 おやつタイム

12:00 終了 片付け

12:20 講師 & ボランティア 振り返りタイム

<ボランティアの感想から>

- ・ 子ども達とともに触れ合ったり、遊んだり、音楽を介してのかかわりがとれて、とても楽しめました。
- ・ それぞれ個性があって、音楽の楽しみ方や感じ方もあって、すごくいい経験をさせていただきました。
- ・ 子ども達全員が音楽や活動することに興味を示していて、私自身もとても楽しかったです。
- ・ 各々の個性に合わせて音楽を楽しみながら過ごす(又は、雰囲気を楽しむ)ことが子ども達にとって、豊かな時間になってくれれば良かったです。
- ・ 音楽を通して、お子さんの人柄や表情が伝わってきました。一人ひとり楽器活動をさらにじっくりしたいと思いました。
- ・ 障害のある子ども達が、また親同士が集える環境があることはとても良い機会だと思いました。普段なかなか触れられない楽器を触ったり、思うままに動くという場が作れてよかったですと思います。



<保護者の感想から>

- ・ 保護者交流の場があり、親も他地域の方と交流ができたのが良かった。
- ・ 親から離れ、若くて元気なお姉さん、そして、お友達と楽しく過ごせたようです。
- ・ 久しぶりのイベント参加で、初めての場、初めての人とのかかわりの中で、子どもがのびのびとしていたことがうれしく、成長を感じた。
- ・ 子どもの表情がとてうれしそうだった。
- ・ 日頃、あまり手にすることのない楽器を使うことができ、うれしかったと子どもが言っていた。
- ・ 息子はとても楽しかったようです。親も違う地域の保護者からのお話を聞けてよかったです。
- ・ お友達や兄弟も一緒に参加できること、保護者の付き添いなく子ども同士で楽しめることが良かったです。



●学習会やイベントのお知らせ●

★学習会のお知らせ

☆日本の子どもの今：子ども権利条約第3回日本報告の審議

日時：7月24日(土) 14:00～16:00 資料代：300円 (ヒューライツ大阪の会員は無料)

会場：piaNPO 6F会議室 601号 (大阪市港区築港2-8-24)

(地下鉄中央線大阪港駅④出口西へ200m)

申込み・問合せ：アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪 担当：岡田)

Tel 06-6577-3578 Fax 06-6577-3583 e-mail webmail@hurights.or.jp

講師：平野裕二氏 (子どもの権利条約NGOレポート連絡会議)

「子ども権利条約日本報告審議について」

特別報告：「子どもの権利委員会でのロビー活動について」 ジュネーブの報告です。

☆第1回 大阪市「障害」のある子どもの高校進学を実現する学習会

「みんなといっしょに高校に行きたい!!」

日時：7月31日(土) 13:30～16:30 資料代：200円

会場：大阪府障害者社会参加促進センター 2階 (大阪市天王寺区生玉前町5-33)

(地下鉄谷町線 谷町九丁目駅⑤出口南へ、四天王寺夕陽丘駅①出口北へ 徒歩10分)

主催：障害児の高校入学を実現する大阪市民の会 後援：大阪市教育委員会

講師：塩見暢朗氏 (大阪市教育委員会事務局指導部) 報告：保護者3名と本人1名

★公演のお知らせ

☆音楽劇「Cherry～愛と平和の実を結ぶもの」国際コルチャック会議2010参加公演

日時：8月8日(日) 13:00～ (開場12:30)

会場：リバティおおさか ホール (大阪市浪速区浪速西3-6-36)

(JR環状線芦原橋 南へ600m)

主催：みんなで作る学校「とれぷりんか」 問合せ：toreburinkagekidan@yahoo.co.jp

チケット：大人 当日¥1,500 前売¥1,000、高校生以下 当日¥800 前売¥500

☆第10回大阪野外演劇フェスティバル参加 劇団態変「自由からの逃走」

日時：9月8日(水)・9日(木)・10日(金)・11日(土) 各日19:30開演

会場：大阪城公園 太陽の広場 特設NGR銀色テント (雨天決行)

(JR大阪城公園駅 徒歩3分、地下鉄鶴見緑地線大阪ビジネスパーク駅 徒歩5分)

チケット：前売¥3,000、学生/シルバー¥2,500、障害者+介助者ペア¥5,000、当日¥3,500

申込み・問合せ：劇団態変 TEL 06-6320-0344、<http://www.ne.jp/asahi/imaju/taihen>

近くの小中学校のプール授業の準備体操の掛け声が聞こえてきます。娘の高校はプール授業がありません。本人は「良かった」と思っている様子。小中学校の先生方は、きっとプールが好きなお子だと思っておられたことでしょうか。友達と一緒にだから我慢して頑張っていたのだと、今になって気づきます。障害児だから、やりたくないから、できないから、そんな理由で特別扱いをされることなく、楽しいことも嫌なことも、一緒にやっていくのが「学校」だと思うのです。共に育ちあう日々が、子どもの生きる力になっていきます。

